

No.	5	分類	2-(2)-ア	資料名	とんとん しっ	学年	1年	領域	道徳	4-(1)
-----	---	----	---------	-----	---------	----	----	----	----	-------

1 ねらい

- 集団生活のルールやマナーを進んで守ろうとする。
- 相手の気持ちを考えた言動の大切さに気づき、豊かな人間関係を築こうとする。

2 趣旨

- 集団生活のルールやマナーを守り、相手や周囲の人の気持ちを考えた言動を行うことは、よりよい人間関係を築くうえで基盤となることである。
- 日常生活の中に起こりがちなトラブルの場面のロールプレイにより、注意した側・された側それぞれの思いに目を向けるようにする。
- 身近な生活の中から、ルールやマナーが守られなくて困ったり、思慮の足りない言動がもとでいやな思いをしたりした経験を見つめ直す活動を通して、相手の気持ちを考えてよりよい関係を築いていこうとする態度を養う。

3 配慮事項

- おしゃべりした子と注意をした子のどちらが悪いかを考えるだけではなく、双方の立場からマナーの大切さや適切な表現方法について考えられるようにする。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 資料前半の場面を把握する。	・挿し絵を手がかりに、身近に起こりがちな場面として把握させる。
2 前半の場面で、注意した「となりのこ」と注意されたぼくの思いについて考える。	・注意した子と注意された子になって、ロールプレイをさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 言い合いをしていて、どんな気持ちになりましたか。 </div>	
3 資料後半を読み、それぞれの思いについて考え、表現する。	・ロールプレイの中で感じたことを双方の立場から表現させるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「とんとん しっ」としたとき、「となりのこ」とぼくはどんな気持ちだったでしょう。 </div>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「とんとん しっ」とした「となりのこ」の気持ち ・注意されたぼくの気持ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに心の中の言葉を表現させることで、口論になった前半とのちがいを感じ取らせるようにする。
4 身近な生活の中の言動についてふりかえる。	・マナーの大切さや適切な表現方法について、身近な事例をとりあげる。

5 参考

- ワークシート 平成13年発行小学校低学年用『ほほえみ』活用の手引き 参照